

会 議 録

会議の名称	第 14 回米山地域開校準備委員会	
開催日時	令和 7 年 12 月 10 日 (水)	
	午後 7 時 00 分 開会	
	午後 8 時 40 分 閉会	
開催場所	中津山公民館 視聴覚室	
委員出席者	佐々木 俊 樹 委員	米岡小学校 P T A 会長
	齊 藤 善 寛 委員	中津山小学校 P T A 会長
	大 内 秀 人 委員	米山東小学校 P T A 会長
	中 村 直 人 委員長	米山中学校 P T A 会長
	島 本 和 男 副委員長	米岡小学校学校運営協議会会長
	菅 原 克 美 委員	中津山小学校学校運営協議会委員
	菅 原 直 行 委員	米山東小学校学校運営協議会会長
	伊 藤 俊 一 委員	米山町行政区長会長
	阿 部 真 吾 委員	よねやま保育園保護者会長
	白 石 達 哉 委員	米岡小学校長
	渋 谷 雄 二 郎 委員	中津山小学校長
	佐 藤 友 昭 委員	米山東小学校長
	佐 藤 智 哉 委員	米山中学校長
有識者出席者	高 橋 宥 祐	校章補作者
事務局出席者	安 部 保 男	学校再編推進室長
	菊 地 泰 弘	学校再編推進室長補佐兼学校再編推進係長
	高 橋 昂 平	学校再編推進室主事
欠席者	久 保 泰 宏 委員	米山中学校学校運営協議会会長
	佐 藤 美 紗 登 委員	米山幼稚園 P T A
傍聴者	0 人	
議事	(1) (仮称) 米山小学校の校章の補作について (2) (仮称) 米山小学校の校歌 (案) について (3) 専門部会等の報告事項について	
事務局	事務局	開会 午後 7 時 0 0 分 第 14 回米山地域開校準備委員会を開会する。 (挨拶)
	学校再編 推進室長	要旨 ○本日は、校歌の確認と校章の決定が協議事項となっている。今後も開校に向けて、皆様のお力添えをいただきたい。 ○米山地域の小中学校の校長先生方には多くのお力添えをいただいている。体操着に関してはコンペが開催され、スクールバスのルートについても検討を進めていただいている。感謝申し上げます。 ○本日も活発な議論をお願いしたい。
事務局	事務局	登米市開校準備委員会設置要綱において、委員長が議長となることが定められているため、以降の進行は中村委員長に願います。

議事 2	委員長	本日の議事に入る前に、会議録署名委員を指名する。 会議録署名委員は渋谷雄二郎委員と佐藤友昭委員とする。
	委員長	それでは、議事に入るが、補作をお願いしている高橋先生から遅参の連絡をいただいているため、議事2「(仮称)米山小学校の校歌(案)について」から協議を行う。事務局に説明を求める。 議事2「(仮称)米山小学校の校歌(案)について」 【事務局説明 資料3】
	委員長	事務局から、前回の会議でまとめた意見を踏まえ、作詞の先生に修正を依頼した結果、本日の歌詞案となった旨説明があった。素晴らしく修正していただいたと感じている。 まずは歌詞について何か意見はあるか。
	委員	楽譜では「稲穂」、歌詞では「穂波」となっている箇所がある。どちらが正しいのか。
	事務局	「稲穂」だったと記憶している。資料の誤りだと思うので、確認する。
	委員	歌詞の修正案を見ると、さすがプロだなと感じる。提出した案がきれいに整えられている。
	委員長	歌詞については決定でよろしいか。 (異議なし)
	委員長	次に、曲についてはどうか。
	委員	1番と2番など、それぞれの間に間奏は入らないのか。
	事務局	現段階ではデモと聞いている。最終的には間奏が入るのではないか。
	委員	今回の案も大変すばらしいが、原案のメロディも盛り上がりを感じられる魅力的な楽曲であった。提案になるが、今回示された案は原案を基にアレンジを加えたものであることから、原案のメロディはそのままにテンポのみを速めたものと比較したい。
	事務局	作曲の先生にその旨お願いすることとする。
	委員長	それでは、歌詞については決定とし、楽曲については今回示された案と原案のテンポを上げたものを比較したうえで決定することとする。 (異議なし)
	事務局	事務局からの提案になるが、校歌を子どもたちの声で録音したいと考えている。来年度になると考えているが、学校に協力をお願いできないか。

議事 1	委員	教育委員会から学校長あてに通知をいただけるのか。
	事務局	そのように考えている。また、先日、祝祭劇場に録音について相談したところ、体育館での録音ができないわけではないが、可能であれば祝祭劇場にお越しいただきたいとの話があった。バスの手配が可能か検討を進めるが、参加者は全児童ではなく、各校から数名を推薦していただきたい。実施時期は、祝祭劇場の業務が集中しない春から夏頃を想定している。
	委員	来年度に録音を行うのであれば、開校年度に6年生になる児童に参加してもらうのも良いかもしれない。
	委員長	議事2については以上とする。 次に、議事1「(仮称)米山小学校の校章の補作について」事務局から説明を求める。
		議事1「(仮称)米山小学校の校章の補作について」 【事務局説明 資料1】
	委員長	先生からは、直感で良いと感じた案を選んでほしいと説明があった。まずはカラー案についてご意見をいただき、ある程度意見をまとめてからモノクロ案について意見を集約したい。カラー案について、委員皆様から順にご意見をいただきたい。
	委員	意見要旨 ○色の種類は少ない方が良いのではないか。 ○校名が入る枠の部分を着色するかどうかで印象が変わる。 ○現在の米山東小学校の要素が出ている案もある。 ○「米小」の「小」の部分が川のようにも見えることから、「米川」を連想する。デザインの修正を検討していただけないか。
	委員長	各委員からの感想を聞いた結果、資料中の番号で言うと1、5、6との意見が多かった。
	委員	正直、目移りしてしまって選ぶことが難しい。補作をしていただいている高橋先生に決めていただくのはどうか。
	委員長	先生のご意見はどうか。
有識者	個人的には、1番と5番は古典的な印象であり、6番はより現代的な印象を受けている。 「小」の字をどのようにデザインするかについては悩ましい部分であり、お示した案も様々検討したうえで導き出した案ではある。枠の形が台形となっていることでスペースが限られているが、傾きを取り入れる、「小」のはねの表現を工夫するなどの方法も含めて、引き続き検討したい。 確認したいが、カラーの校章は、どのような場所で使われるのか。	

委員	校旗や体育館の緞帳等に用いられている。
委員長	次に、モノクロ版についてはどうか。
委員	「米小」の視認性が高い3番の案が良い。
委員	私も3番の案が良いと思う。
委員長	3番の意見が続いているが、それ以外にどうか。
委員	私は6番が良い。背景色が入る場面では映えやすいのではないか。また、黒以外の色で単色表現を行った場合には、また印象が変わると思う。
委員	体操着に用いる場合は、刺繍かプリントか。
委員 (小学校長)	プリントになる。
委員	刺繍糸やプリント色の選択によっても印象が変わるのではないか。
委員	白抜きとなっている部分は、体操着へのプリント時には生地の色がそのまま見えることになるのか
委員	そうなるのではないか。
副委員長	素人考えではあるが、黒塗りの部分を斜線や水玉模様などで表現することで、単色でも軽やかな印象になると感じる。
委員	モノクロ版の鶴は黒塗りにになっている。これを縁取りだけにしても良いかもしれない。
委員	モノクロとしたとき、柁に色があることで校名が分かりにくくなる。カラーのデザインをそのままモノクロにしなければならぬ等、決まりはあるのか。
事務局	校章としてのルールがないか確認したい。
委員長	それでは、カラーは1番と5番、モノクロは3番として、「小」の字の調整を行うということによろしいか。
事務局	本日の会議で、ご決定いただくことは難しいか。
委員	決定は難しいかもしれない。しかし、カラー案も1つの案に絞らなければ、先生に負担をかけることになるのではないか。
委員長	協議内容を総括し、カラー案は5番とするのはどうか。

		(異議なし)
議事 3	委員長	事務局から本日の会議で決定したいとお話があったが、今日の協議で決定とは言いかねる。方針としてカラー案は5番、モノクロ案は3番で調整を進めていただきたい。
	委員長	それでは、議事1については以上とする。 最後に議事3「専門部会等の報告について」事務局に説明を求める。 議事3「専門部会等の報告について」 【事務局説明 資料2】
	副会長	スクールバスについて市に確認したい。国からの補助があることから、学校から4km以上の児童について、スクールバスの対象としていると思うが、統合後はどのような取扱いとなるのか。
	事務局	再編を行う町域については、原則として学校から4km以上ある児童をスクールバスの対象としている。このことは、校長会において各校長先生にお伝えしている。
	副会長	4kmは直線距離なのか、それとも実際の道のりなのか。
	事務局	実際の道のりである。
	副会長	現在、学校から約2kmの児童もスクールバスに乗車しているが、原則どおりとした場合、学校から3.5km離れていても、基準上は乗車できない児童が生じる。また、1・2年生にとって長距離の徒歩通学が負担となる可能性もある。こうした影響を踏まえ、一定期間の経過措置を設けることも考えられるのではないか。
	事務局	今後、代替案等を検討することもあり得るかもしれないが、現時点では原則に基づいて進めたいと考えている。現に都市部や近隣の石巻市など、4km以上を原則として運用している自治体は多い。
	委員	自転車通学はどうか。
	委員 (小学校長)	統合によって児童数が増える見込みであり、駐輪場の確保の問題もあることから、現在学校で対応を検討している。
委員 (小学校長)	スクールバスの運行について検討するにあたり、まず4km以上の児童を対象とするケースから考えていきたい。検討すべき事項が多岐にわたることから、まずは基準となる考え方を整理し、取りまとめたい。 また、10年以上前に、スクールバスの担当を務めたことがあるが、当時も、保護者の中には少しでも自宅に近い場所に停留所を設けたいと考える人がいた。こうした点も踏まえると、停留所の設定については慎重に見極めていく必要がある。	

その他	委員長	ほかに、ご意見はあるか。なければ、議事は以上とする。 それでは、進行を事務局へ戻す。
	事務局	「その他」について、委員から何かあるか。 (なし)
	事務局	なければ、事務局から何かあるか。
	事務局	次回の会議は1月の開催を予定している。日程の詳細は、委員長と調整 のうえ、改めてご案内申し上げる予定である。
	事務局	以上で、第14回米山地域開校準備委員会を閉会する。 閉会 午後8時40分